

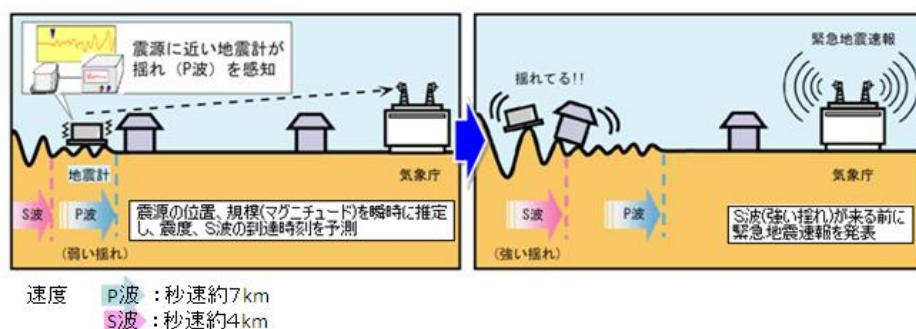
緊急地震速報ってなに？



緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、地震を検知後、強く揺れる前に揺れが来ることをお知らせする情報です。しばしば、地震の発生を予測しているのだと誤解されがちですが、そうではありません。

地震が発生すると、揺れが波（地震波）となって地中を伝わっていきます。地震波には、主に2種類あります。速いスピード（秒速約7km）で伝わるが揺れは弱い「P波」と、P波よりもスピードは遅い（秒速約4km）が揺れは強い「S波」です。震源付近でP波を検知した地震計から送られてきたデータを解析し、震源や地震の規模、予測される揺れの強さを計算し、発表基準に達した場合には、緊急地震速報を発表します。緊急地震速報の仕組みはこのような感じです。これらの処理は全て自動で瞬時に行われるので、S波が伝わってくる前にお知らせすることが可能となります。



緊急地震速報の注意点！

緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、震源に近いところでは速報が間に合いません。また、ごく短時間のデータだけを使った速報であることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。緊急地震速報にはこのような特性や限界があることも知っておいていただければと思います。

緊急地震速報を見聞きしたら何をする？

緊急地震速報を見聞きしたら、まずは**あわてず身の安全を確保すること**が大切です。

屋内では、物が落ちたり倒れたりしそうな場所から離れて、丈夫な机の下など安全な場所で揺れが収まるまで頭を守ってください。屋外では、ブロック塀の倒壊や、看板や割れたガラスの落下に注意してください。

（参考）気象庁 HP 緊急地震速報について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eeew/index.html>

Point

緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度です。この間に、あわてず身の安全を確保するためには、緊急地震速報を見聞きしたとき取るべき行動を知っているだけでなく、その行動を練習しておく必要があります。

気象庁では、毎年2回、緊急地震速報の全国的な訓練を実施しており、今年度1回目の緊急地震速報訓練を下記日程で実施いたします。

2025 年6月の緊急地震速報訓練

○2025 年6月 18 日(水)10 時 00 分

○国の機関や地方公共団体に訓練用の緊急地震速報が配信されます。
※テレビ・ラジオの放送や、エリアメール等では配信されません。

○訓練用の緊急地震速報が防災行政無線等で放送されるかは、お住まいの自治体にご確認ください。

○気象庁 HP 緊急地震速報を活用した訓練について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/kunren.html>

緊急地震速報が発表されたら

あわてず、まず身の安全を！

緊急地震速報を見聞きしたとき、揺れを感じたときは
危険な場所から離れるなど、状況に応じて身の安全の確保を

屋内では

- ・頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- ・つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- ・最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外では

- ・ブロック塀の倒壊に注意
- ・看板や割れたガラスの落下に注意



車の運転中は

- ・急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります

Yahoo!ニュース

オリジナル

監修：気象庁